

鬼は外！福は内！！ 鬼に扮した職員のパネルめがけて鬼払い(´ー`)ノ°°

2月3日、福島ともしび苑では節分行事がありました(^)



福島ともしび苑には鬼がたくさん！

まずは体操(^)



体がほぐれたら、力強く「鬼は外！」



紅白対決！
真剣勝負です！みごと命中連発(*^^*)！



職員が紅白玉を数えます♪30個以上入った方も！鬼も降参です(#^#)



災いは外へ！良いことが沢山舞い
込みますように(^)

みなさんのパワーで福島ともしび苑の悪いもの
は外へ追い出されたことでしょうか(*^^*)
コロナも近寄れないほど、たくさんの福で満た
されることを願っています。

職員インタビューコーナー

福祉の仕事をするようになったきっかけ

祖母の体調が悪くなり、介護福祉士の資格を取って、「最後まで看せよう」と思ったことがきっかけです。
結果として祖母は病院で最期を迎えましたが、向き合えたと思います。

福祉の仕事をしていなかったら

何かしらの対人援助職には就いていたと思います。障害者に関することや、今のような職種ですね。
事務職員や会計士のようなきっちり求められる職種よりは、ある程度幅が持てる職種が自分には向いています。



特養ともしび介護職員 松井彩華さん

憧れる人物像は

前職や、以前在籍していた福島ともしび苑の主任をはじめ、「主任」という立場の方はすごいと思っています。問いに対する答えのレベルが自分とは違っており、経験プラス常に勉強されていることがわかります。考え方や助言の速さは「さすが」ですね。

ステージアップ願望

その気持ちは持っています(^)
一般職の立場で積む経験も勿論大切ですが、上の立場で積む経験は厚みが増すとと思っています。
自分がそのポジションに立った時に付いてきてくれる人には、後悔させないですよ(*^^*)

ストレス対処

嫌なことがあっても、ネタにしつつ楽しく仕事のできているのであまり溜め込みませんが、溜まってきた時は家族と温泉や山に行ったりしていました。
他には友人とのお喋りですね。主任やリーダーも話を聞いてくれますし、後輩から相談されたらだべりながらゆったり悩みを聞いて一緒に考えたりしています。

10年後の自分

10年で得た経験を織り交ぜ、ご利用者さんにとってより良いものをご提案できるようになりたいです。ご利用さんにとってここは終の棲家であるので、QOLをなるべく高く保つにはどこまで介助するのか、本人に寄り添いながら丁寧な関りができるようにしたいです。

心が動いたエピソード

特養ともしびで急に容態が悪くなりお亡くなりになった方のことなのですが、よくお話をしていた方でしたし、日頃撮っていた写真をご家族様にお渡しした時に涙を流され「最期がここで良かった」と感謝されたことです。
最期は病院になりがちなのですが、ここで過ごしていただけました。入居中はご家族様もきっと安心して暮らせておられたことと思います。

難しさを感じたこと

ご利用者様の認知症が進んで食事をするのが難しくなった時、品や食事形態を変え、介助方法も変えて様々な対応をしました。ですがなかなかうまくいかず療養型の病院に入院になったことがありました。
その時1人で悩んでしまったのですが、主任、リーダー、ご家族様にも相談もすることはすごく大切なことなのだ改めて思いました。